

新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道 (30)

新たな歴史の始まりに思うこと②



夢と現実の間で

1981年、鳳病院はリハビリ専門病院と内科の病院として新たなスタートを切りました。この年は神戸で「ポートピア'81」が開催され、松田聖子や薬師丸ひろ子の子の歌が大ヒットしました。安賀先生と5年目の私が中心となり、地域に根差した都市型のリハビリシステムを構築するという、夢に満ちた事業でした。リハビリカンファレンスの定期開催、専門研修の受け入れ、医療ソーシャルワーカーの充実、訪問診療の実施など、さまざまな計画を立てました。しかし、病院発足直後から医師と経営の問題に直面します。当初は3フロアで開院する予定でしたが、医師が確保できず、リハビリと内科の各1フロアでスタートせざるを得ませんでした。さ

らに、耳原総合病院から診療科を移設するという計画もありました。

また、当初の計画では外来診療を旧分院の跡地で行い、新病院は入院機能に特化する予定でした。しかし、病院完成直前に資金繰りが悪化し、旧分院の土地を売却せざるを得なくなりました。

その結果、外来用の設計ではない新病院に、外来診療部門が押し込まれることになりました。「なぜこんなレイアウトなんだ」「どうしてこんなところに柱があるんだ」といった不満の声は、何度改修をしても消えることはありませんでした。

地域とともに歩んだ歴史

1981年以降、鳳病院は民医連の一員として、地域に根差し、友の会や職員とともに歩み続けました。大阪府下2番目の訪問看護ステーションを開設しました。糖尿病教育入院や喘息大学を開設し、整形外科や皮膚科、心療内科の診療も開始。子ども診療所も併設しました。外来予約制や

送迎サービスも導入し、インフルエンザの予防接種にも積極的に取り組みました。患者さんを心配して訪問したり、運動指導室やデイケアを開設したり、友の会ふれあい昼食会を発足させたりもしました。在宅介護支援センターも院内に開設しました。被爆者検診や水俣病検診、健康祭りなど、さまざまな活動を通じて地域とのつながりを深め、年末の忘年会は同仁会の名物となりました。

1998年に同仁会の経営危機が発覚した際は、幹部を筆頭に人事交流を積極的に行い多くの職員を再配置しました。

未来へのメッセージ

2009年病棟の医師体制が維持できず、病院からクリニックへ変更しました。

地域や患者さんのために職員が力を合わせるのが、鳳の伝統です。鳳の歴史は私たちの誇りであり、未来への指針です。「誰のために、何のために」を問い続け、この伝統が新世代にも受け継がれ、さらに発展していくことを願っています。

(耳原鳳クリニック 医師 池田 信明)

会務報告

9月度臨時評議員会(概要)

開催日時：9月11日(木)
午後5時～6時10分
出席：理事 28名
監事 2名

◆報告

・老健みみはらの経営改善の取り組みについて
・鳳エリア「地域包括ケアステーション」の取り組みについて
・地域医療の崩壊をく

い止めるための緊急行動・国民署名について

◆承認事項

・理事・監事の任期満了による改選について承認

9月度理事会(概要)

開催日時：9月25日(木)
午後6時～6時22分
出席：理事 22名
監事 3名

◆報告

・拡大常任理事会、各

種委員会概要

・健康友の会みみはら、社保・平和の取り組み

・看護職員確保推進本部会議報告

・無料低額診療の各事業所実績報告

・地域医療の崩壊をくい止めるための緊急行動について報告

・2025年8月度決算概要

◆承認事項

・次期評議員の委託について承認
・新理事会の執行部体制及び常任理事の提案について承認

「色エンピツ画展」

開催中



～色エンピツ画サークルの皆さん～

耳原総合病院1・2階ギャラリーにて、健康友の会みみはら中区土師支部・色エンピツ画サークル19人の皆さんによる作品展の開催が始まりました。

も、今では描くことが日課となり、目覚ましい成長を遂げられています。作品制作を通じた活動交流は、皆さんにとって刺激となり、健康増進にも

た。

色エンピツ画サークルは、山口鈴美先生のご指導のもと7年間続いており、「せつかく作品を描いているので、誰かに観てもらいたい」との声が上がり、総合病院のギャラリー展示を提案しました。

当初は絵を描くことが苦手だったメンバーも、今では描くことが日課となり、目覚ましい成長を遂げられています。作品制作を通じた活動交流は、皆さんにとって刺激となり、健康増進にも

展示情報 「色エンピツ画展」

会期：2025年10月～2026年3月
どなたでも観覧できます。

つながっています。力作揃いの展示を、ぜひご覧ください。

ギャラリー情報

耳原総合病院では、「希望」「癒し」「エネルギー」をテーマに、企画展示を開催中です。地域の皆さんもご利用いただける展示スペースとなります。ご希望の方はお気軽にご相談ください。

お問い合わせ窓口：at-info@mimihara.or.jp
耳原オートリンクセンターまたは健康友の会みみはら事務局まで

働き方相談

仕事と治療の両立に悩んでいる方への

地域コミュニティ棟「みみっば」内では、堺市難病患者支援センターさんと連携し「働き方相談」をおこなっています。仕事と治療の両立に悩んでいる方、または、新規の就職を考えている方は一度相談にお越しください。

相談日：令和7年12月18日(木)

※要予約：相談日の1週間まで

対象：指定難病患者・小児慢性特定疾病児童等とその家族

詳しくは堺市難病患者支援センターへ
電話 072-275-5056

